

日肝協 第25回 全国交流のつどい・代表者会議 in 大阪

開 催 要 項

2015年7月26日 日本肝臓病患者団体協議会

多くの肝臓病患者が抱える悩みや苦しみ、治療の現状、恒久対策の確立などを、全国の患者会（日肝協加盟37団体）役員等が一堂に会して話し合い患者会活動について研鑽する場です。肝硬変・肝がん患者への医療費助成、身体障がい者手帳交付基準の見直し 肝炎ウイルス検診と最新治療受療促進で肝がん撲滅のため行政や研究者・医療者と協働して取り組みを進める力となるように大阪で開催します。

○会 期 2015年11月8日(日)13:00～9日(月)12:00

○会 場 8日：国労会館（JR環状線天満駅下車3分）・リバーサイドホテル

9日：リバーサイドホテル（JR環状線桜ノ宮駅下車徒歩5分）

○プログラム

- 11/8(日) 12:00 受付開始（国労会館4階）
13:00 開会式 主催者、来賓挨拶等
14:00 分科会 ①「肝炎対策の推進」②「患者会の運営、あり方」
-17:00 ③「これからの肝臓病対策と患者会」講演（講師：京都府立医科大学消化器内科脂肪肝外来担当 角田圭雄先生）とディスカッション
18:30 夕食・交流のつどい～20:30 会場：リバーサイドホテル
11/9(月) 9:00 代表者会議（桜宮リバーサイドホテル）
活動報告・決算予算・監査報告・活動方針・新役員選出
全体集会：各分科会報告、新代表幹事挨拶、アピール採択等
12:00 閉会

○参加について 参加費 1泊2食付き 15,000円 夕食懇親会のみ6,000円
会議のみ 1000円 **参加者 120名を予定**

○主 催 日本肝臓病患者団体協議会 開催担当：大阪肝臓友の会

市民公開講座 2015年11月9日(月) 14:00～16:00

会場 大阪市立総合医療センター（略称：市総合） さくらホール

大阪市都島区都島本通2-13-22

桜宮のリバーサイドホテルから徒歩7分程度です。

- 内容は、①「肝がんに対する最新の外科治療」（講師：市総合 肝胆膵外科 金沢景繁先生）
②「B型・C型肝炎の最新治療と発癌抑制」（講師：市総合 肝臓内科 木岡清英先生）
③「肝硬変の再生治療（仮題）」（講師：大阪市立大学医学部肝胆膵内科
客員教授 吉里勝利先生） を予定

共催：大阪市立総合医療センター 大阪肝臓友の会

連絡先 大阪肝臓友の会事務局 〒550-0013 大阪市西区新町2-14-11東京ビル4F

Tel. 06-6534-0660 Fax. 06-6534-0663 携 070-5434-3964 mail: osaka@kanzo.org

日本肝臓病患者団体協議会第25回全国交流のつどい代表者会議 おおさかアピール(案)

日本肝臓病患者団体協議会(日肝協)の「第25回全国交流のつどい・代表者会議」は、全国から■団体■名が参加し開催されました。

2011年8月(第177回国会)に両院で採択された「肝硬変・肝がん患者等の療養支援の推進」の請願内容を進め、私たちの願い実現のために自民・公明与党による「肝炎対策推進議員連盟」が設立されました。また厚生労働省では「肝臓機能障害の認定基準に関する検討会」で肝臓機能障害の認定基準の見直しでチャイルドビュー分類Bまで緩和することが提案されています。

本年5月21日、189通常国会に「肝硬変・肝がん患者の療養支援の推進を求める請願」を、全国B型肝炎訴訟原告団・弁護士及び薬害肝炎全国原告団・弁護団の協力を得て、全国から200余名が国会に参集し10万余筆の署名簿を議員に託しました。この院内集会には与野党の議員の方々が激励に駆けつけてくださいました。私たちの請願は、9月25日に参議院で採択されましたが衆議院では採択されませんでした。

第4回世界・日本肝炎デーフォーラムを7月26日に全電通会館ホールで開催しました。400人が参加し、与野党国会議員の方々から「肝炎対策の拡充」などについてごあいさつをいただきました。また、世界肝炎デーに合わせ全国各地で啓発活動が取り組まれました。

治療法では、C型肝炎においてはインターフェロンフリーによる治療が第一選択肢とされ、治療効果が高い薬剤も医療費助成の対象となりました。B型肝炎では、核酸アナログ製剤の投与を止める基準が示され、研究分野でもウイルスを排除する薬剤や治療法の開発にも積極的な予算措置がはかられました。

本年1月に「難病新法」が施行され、指定難病が306疾患に、児童福祉法の改正で小児慢性特定疾病対象疾病が706疾患まで順次拡大され、自己免疫や代謝性肝疾患にまで医療費助成と福祉サービス・治療研究の対象が拡大されました。

このように私達が要望している肝疾患対策は、一歩ずつ前進しています。一方では、消費税10%への準備がおこなわれ、「医療と介護総合確保法」が施行、「患者申出療養」制度が始まるうとしており、我々を取り巻く医療環境は厳しい現実に直面しています。

私たちは、今後も世界・日本肝炎デー(7/28)には、各地で自治体や医療機関などに働きかけて、「知って肝炎」キャンペーンを広げ、肝炎ウイルス検診の一層の普及と、どこでもすべてのウイルス肝炎患者が最新医療を受けられるよう取り組まなければなりません。

本年9月にWHOと世界肝炎アライアンスの共催で、スコットランドにおいて第1回世界肝炎サミットが98か国の参加で開催されました。日肝協も招待を受け、日本での40年にわたって粘り強く求めてきた肝炎患者への社会的支援を求めた活動とその獲得のとりくみを紹介し、世界の肝炎患者・研究者との連帯の端緒を築きました。

これからも全国の患者会・患者家族と連帯し、広く国民の支援を得て「医療費助成の拡大」と身体障がい者認定基準の緩和をめざして活動しましょう。

来年の長野でのつどいでは、成果を持ち寄り全国の療養中のなかまを励ましましょう。

2015年11月9日

日本肝臓病患者団体協議会 第25回全国交流のつどい・代表者会議